

樹脂製平板・角杭の使用例・手順



1人でも土留めや花壇を作ることができます。
木材のように腐朽やシロアリの心配がなく、
コンクリートよりも手軽に作ることができます。

<p>①</p> <p>今回は、長さ2m・奥行1m・高さ30cmの長方形の花壇を作りたいと思います。</p>	<p>②</p> <p>材料は平板H-1000:6枚、ジョイントHJS-300H:2本、HJS-300L:4本、角杭K-5007-N:12本</p>	<p>③</p> <p>市販のコーススレッド38mmを24本と電動ドライバーをご用意ください。軍手など保護具も。</p>	<p>④</p> <p>使用する道具はメジャー、スコップ、カケヤ、プラスドライバー。石が多い地面には鍬やツルハシ。</p>
<p>⑤</p> <p>まずは、全てのジョイントとキャップを付属のビスで固定します。</p>	<p>⑥</p> <p>施工する場所を平らに整地します。</p>	<p>⑦</p> <p>位置を決めてコーナーに平板を置き、両端からだいたい25cm内側に少し浅めに杭を打ちます。</p>	<p>⑧</p> <p>石が多いなど地面が固い場所は鍬やツルハシ等である程度掘ってから打ち込みます。</p>
<p>⑨</p> <p>斜面に使用する場合は長めの杭を使い、根入れを深くしてください。</p>	<p>⑩</p> <p>コーナー2枚分の杭4本を打ちました。</p>	<p>⑪</p> <p>コーナーの板を立て、直角ジョイントの溝の奥まで差し込みます。</p>	<p>⑫</p> <p>ジョイントの下穴を使って付属のビスで4箇所止めます。締め込み過ぎにご注意下さい。</p>
<p>⑬</p> <p>反対側のコーナーにも杭を打ち、直角ジョイントと板をビス止めします。</p>	<p>⑭</p> <p>長手方向の杭を打ち、平行ジョイントをビス止めします。</p>	<p>⑮</p> <p>残りの対辺とコーナーも同様に作って下さい。枠ができました。</p>	<p>⑯</p> <p>一度少し離れて枠の高さと水平を確認します。</p>
<p>⑰</p> <p>枠の高さと水平を微調整したら、杭の頭を叩いて板の高さに揃えます。</p>	<p>⑱</p> <p>コーススレッドを板の裏側から杭に2箇所打ち込みます。全ての板と杭を固定してください。</p>	<p>⑲</p> <p>枠に土を入れます。</p>	<p>⑳</p> <p>完成！</p>